

スペイン日本語教師会ニュースレター



スペイン日本語教師会
ニュースレター第6号
2012年9月発行
©スペイン日本語教師会
編集 藤野華子・加藤さやか

CONTENTS

1-2 第2回APJEシンポジウム バルセロナ大会 開催

2012年6月28-29日に開催された
第2回シンポジウムについて

藤野華子

2 シンポジウムを振り返って

鈴木裕子

3 バルセロナチームより

大槻岳子

福田牧子

新会員の方より

井上富美子

ナインドルフ会田真理矢

河内亜紀子

5 2012年 秋のイベント

CEFR勉強会

「聞くことの指導」研修会

「読む活動・書く活動」研修会

APJE会員120名を超える！

5-6 Q&A 第2回シンポジウム アンケート結果

2012.06.28-29

第2回APJEシンポジウム

バルセロナ大会 開催

2012年6月28日、29日、バルセロナのUniversitat Oberta de Catalunyaで第2回スペイン日本語教師会シンポジウムが開催された。今回のテーマは「日本語教育とE-ラーニング」。基調講演には国際交流基金カイロ日本文化センターの村上古文先生、ワークショップには国際交流基金ケルン日本文化会館の磯村一弘先生と国際交流基金マドリッド日本文化センターの熊野七絵先生をお迎えして、E-ラーニングの現状とこれからの可能性について2日間にわたって様々な議論が行われた。



会場となったUniversitat Oberta de Catalunya

開会式では、上野宏之JFマドリッド日本文化センター所長からの主催者挨拶に続いて、椿秀洋在バルセロナ日本国総領事館総領事とPere

Fabra Abat氏 (Vicerrector de Ordenación Académica y Profesorado de la UOC)にご挨拶をいただいた。

椿総領事からは近頃、生の日本語を理解したいという希望が日本語学習者の間で強まっていること、そして言葉の学習を通じて文化、歴史、伝統についていろいろな事が知らずのうちに学ばれていくことから、今後もスペインで日本語教師同士が仲間のつながりを大切にしつつ、“locura”と“pasión”を持って、日本語教育に励んでいってほしい、とのお言葉をいただいた。また、UOCのPere Fabra Abat氏は、日本語は「ありがとう」という言葉しか知らないが、とても大切な言葉だと思うとおっしゃり、この度UOCでシンポジウムが開かれることになったことをうれしく思い、大学を代表して歓迎するとおっしゃった。



左から、鈴木APJE会長、Fabra Abat氏、椿総領事、上野JFMD所長



会場の様子

今回の参加者はスペイン全国とEU、日本、アフリカから集まった45名。シンポジウム初日には基調講演と2本のワークショップ、そして夕方には椿総領事のご好意により、総領事公邸で盛大な懇親会が行われた。

2日目午前は11本の研究発表と実践報告、午後は「会話」「メディア」「読解」「表記」の4つのテーマでフォーラムが行われ、還元発表でその結果が共有された。フォーラムのまとめやシンポジウムでの配布資料はホームページで公開されている。

(藤野)

シンポジウムを振り返って

鈴木裕子
APJE会長

坂は思いのほか、傾斜がきつくと、息を切らせて登ること10分、山の中腹に見える中世の貴族屋敷を彷彿させる様な建物、それが今回のシンポジウムの舞台、Universitat Oberta

de Catalunya (UOC: カタルーニャ公開大学) でした。

スペイン日本語教師会が発足して3年。現在の会員数121名までに成長した教師会ですが、今回、スペイン日本語教育草分けの地であるバルセロナ、そして、スペインで初めて日本語通信講座を開講したUOCでシンポジウムを開催できたのは、教師会にとっても大変有意義なことだったと思います。

スペイン全土から、また日本、ヨーロッパ、アフリカから参加された先生や、これからのスペイン日本語教育を担う若い先生が一同に会し、E-ラーニングという1つのテーマの下で、考え、語り合うことができました。基調講演の村上先生、ワークショップの磯村先生、熊野先生の見事な連係プレーで、私たち教師は充実した内容に多くを学ばせていただきました。二日目の研究・実践発表では、各現場での取り組みや実践報告が多く、発表後も盛んに質疑応答がなされていました。続くフォーラムは、一人一人が意見交換をする場になったのではないのでしょうか。

シンポジウムのもう1つのイベント、懇親会では、在バルセロナ日本総領事館の椿総領事のご厚意で、総領事公邸のすばらしいご馳走に舌鼓をし、おしゃべりに花を咲かせることができました。この場を借りて、椿総領事、総領事館の吉澤さんの暖かいお心遣いに深く感謝申し上げます。

帰ってからもう一度、サイトやツールを開き、復習をなさっている方も多いと思いますが、来学期からでもすぐ活用できるような優れた技満載ですので、今回参加できなかった会員の方々もホームページ <http://apje.es> をぜひご覧になってみてください。

参加者ほぼ全員が満足できた大成功のシンポジウムでしたが、事前に綿密な計画を立ててくださった講師の村上先生、磯村先生、熊野先生に心より感謝申し上げます。また、会場交渉から準備まですべてを引き受けてくださったUOCの大槻さん、UABの福田さんには、今回のシンポジウムは実現しませんでした。教師会を代表して、お礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



左上、受付をしてくださった吉本さん(左)、益子さん(右)、左下、加藤さん(左)、大石さん(右)、中央、ワークショップの会場の様子、右、1日目の昼食、UOCテラスにて。

バルセロナチーム より

Universitat Oberta de Catalunya
大槻岳子

シンポジウムのような企画のお手伝いを一度させて頂きたかったので、満足しております。至らない点も多く皆様にはご迷惑をおかけしましたが、大変いい勉強になりました。改めて役員の皆様方、福田先生、お手伝いをして下さったバルセロナの先生方、バルセロナ自治大の学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

Universitat Autònoma de Barcelona
福田牧子

昨年の夏、第二回シンポジウムがバルセロナで開催されることが決定し、それからおよそ一年間準備に参加させていただきましたが、あっという間の2日間でした。シンポジウムは大変暑い中での開催となりましたが（特に会場までの道は大変な暑さでした！）、バルセロナ滞在を多くの方に楽しんでいただけたようで、光栄に思っております。



総領事公邸にて。左から、上野所長、鈴木会長、熊野先生、村上先生、磯村先生。

新会員の方 より

Rotterdam University (オランダ)
井上富美子

バルセロナでのシンポジウムではお世話になりました。とてもレベルの高い充実した勉強会で、大変刺激になりました。以来、参加者の何人かとはFaceBook上で頻りに様々な情報を交換して（頂くことがほとんどですが）、E-時代に見合った新しい試みへの挑戦が始まったところで

す。バルセロナのもうひとつの収穫は、今まで色々な事情で「仮死」状態となっていたオランダ日本語教師会が息を吹き返すか、というところまで漕ぎ着けたことです。この先教師会運営に関して、ケルンの磯村先生や経験豊かなスペイン教師会の皆様に何かとご教示願うことになりそうですので、その節はまたどうぞ宜しくお願いいたします。

皆様、オランダにおいででの機会には是非遊びにいらしてください。

Dalama University (スウェーデン)
ナインドルフ会田真理矢

この度、バルセロナでのシンポジウムで発表するのを機にスペイン日本語教師会に入会させていただきました。

アメリカのパデュー大学で9年間教えた後、2009年よりスウェーデンのダーラナ大学で日本語を教えています。もとの専門はフィンランド語の社会言語学だったのですが、ほとんどのフィンランド語の専門家たちがそうであるように、私も結局は日本語に関わる仕事することになりました。スペインは今まで訪れたことさえなかったのですが、アメリカ時代。10年近くフラメンコを踊ってい

たので、今回のシンポジウムでスペイン訪問中に本場のフラメンコを見ることができてとても感激しました。現在スウェーデンでは教師会が存在しておらず、スペインの教師会の活気と勉強熱心さに驚かされました。これからも皆さんと色々な情報を交換して行けたら嬉しいです。



総領事公邸での懇親会

Universitat Oberta de Catalunya
河内亜紀子

はじめまして。今回初めてシンポジウムに参加させていただいた、河内亜紀子と申します。私は、E-learningを実施しているカタルーニャ公開大学(UOC)で日本語の教室を担当したり、教材を作成したりしております。

生徒ではなく、パソコンを前にして日本語を教えることの難しさをいつも実感していましたが、今回先生方の講演を拝聴し、E-learningでも様々な方法や可能性があることにあらためて気づかされ、大変勉強になりました。また、多くの先生方と交流ができて、これからも頑張ろうという励みになりました。

まだまだ未熟者ですが、これからもどうぞよろしく願いいたします。



2012年 秋のイベント

🎧 CEFR勉強会

6月でお休みになっていたCEFR勉強会が9月25日(火)より再開されます。

今期は『外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠』第四章はじめてから読み始めます。途中参加の方も歓迎です。第三章まで読んでおいてください。

日時：毎週火曜日 11:00~12:00

場所：JFMD 4階 (C/Almagro, 5)

* 地方の方はSkypeで参加可能。事前にSkype名をご連絡下さい。

* 今までの勉強会でのQ&Aは、ホームページの教師会フォーラムのCEFR勉強会をご覧下さい。

🎧 「聞くことの指導」研修会

日時：10月8日 (月)

11:00~14:00

場所：JFMD 4階 (C/Almagro, 5)

テーマ：聞くことの指導—より効果的な指導を目指して—

講師：横山紀子 (JF日本語国際センター事業化開発チーム長)

横山先生より

「聴解を習得につなげる教室活動」という内容で、講演というより、参加者とのやり取りや、小さいワークをしながら、ティータイムのような雰囲気、気軽に話し合ったり質問に答えたりする時間を設けたいと思っています。

参加費：会員 無料、非会員 5€

申し込み方法：お名前、非会員の方の場合はその旨を明記の上、apje.sanka@gmail.com までご連絡ください。

申し込み締切り：9月30日(日)

* 当日参加はできませんので、必ず申し込みをしてください。

🎧 「読む活動・書く活動」 研修会

日時：10月27日 (土)

14:00~17:00

場所：Hotel Petit Santa Barbara
(Plaza Santa Bárbara, 10)

テーマ：なぜ、ここで、この活動をするのか？—読む活動・書く活動の場合—

講師：奥村三菜子 (ボン大学)

奥村先生より

授業教案の作成は教師が最も時間とエネルギーをかけている日常の業務でしょう。学習者の反応を想像し、教室の雰囲気を思い浮かべながら、試行錯誤を繰り返すこの教案作成の過程こそが、授業の良し悪しを左右すると言っても過言ではありません。研修会では、私たちの日常生活における文字言語活動を振り返りながら、「読むこと」「書くこと」の授業教案をじっくりと見直していきたいと思えます。

参加費：会員 無料、非会員 5€

申し込み方法：お名前、非会員の方の場合はその旨を明記の上、apje.sanka@gmail.com までご連絡ください。

申し込み締切り：10月20日(土)

* 先着28名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。)

* 当日参加はできませんので、必ず申し込みをしてください。

APJE会員 120名を超える！

2012年9月現在、スペイン日本語教師会の会員はスペイン国内外で122人になりました。地域別の分布は次の通りです。

🌐 スペイン国内 (105)

- Andalucía (8)
- Aragón (2)
- Asturias (1)
- Castilla- La Mancha (1)
- Castilla y León (11)
- Cataluña (17)
- Galicia (6)
- Islas Baleares (2)

• C. Madrid (45)

- Murcia (3)
- Navarra (1)
- País Vasco (4)
- C. Valencia (4)

• スウェーデン (2)

- トルコ (2)
- フランス (1)
- ケニア (1)

🌐 スペイン国外 (17)

- 日本 (9)
- オランダ (2)

Q&A

第2回スペイン日本語教師会シンポジウム アンケート結果

今回の参加者45名のうち、26名の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました！

Q1. シンポジウムは全体的にどうでしたか？

とてもよかった 23 まあまあよかった 3

コメント：

- 和気あいあいとした雰囲気の中で、さまざまな人と交流し、意見やアイデアを交換することができたため。

Q2. 基調講演はどうでしたか？

とてもよかった 22 まあまあよかった 1

コメント：

- 実質的な知識を教えてもらい、とても役に立ちました。
- eラーニングの全体像がわかり、一方で具体的にどんなサイトやツールがあり、教材化するのにどういう手順をとればいいのか示されていたので。
- 配布資料のどこをやっているのかがわかりやすくよかった。e-ラーニング初心者にもなじみやすい内容だった。

Q3. ワークショップ(I)はどうでしたか？

とてもよかった 22 まあまあよかった 3
あまりよくなかった 1

コメント：

- エリンのうら話が聞けて楽しかったです。知らなかった機能を教えてもらい、役に立ちました。
- 開発者に直接話を聞くことでいろいろな裏ワザを学べた。リストをもらえてうれしかった（あれは公開すべき）。
- web版エリンは使ったことがあるが、知らなかったコンテンツもあって興味深い内容だった。配布資料の項目リストが役に立つと思う。
- 早速クラスで使ってみようと思います。

Q4. ワークショップ(II)はどうでしたか？

とてもよかった 16 まあまあよかった 8
あまりよくなかった 1

コメント：

- 実際に自分のパソコンを使って体験できたことはとても良かった。
- 実際にさわってみることで活用に向けてのアイデアを具体的に考えたり、教師としてやるべきことを考えさせられた。
- 盛りだくさん過ぎて、速くてついて行けませんでした。残念。
- 紹介されてやってみるように言われたサイトがユーザー登録をしなければならぬものばかりで、この時間割です

のは矢継早すぎた。手順がわかりにくく何をすればよいのかとまどった。

- 皆が一度にアクセスするので、交通量がおもくなり、時々、どうやって、そのページに移るの？と思うことがあり、困ったこともありました。

Q5. 研究発表・実践報告はどうでしたか？

とてもよかった 18 まあまあよかった 6

コメント：

- 興味深かったです。
- どの発表もとてもよく準備されていて実践から学ぶことが多かった。
- それぞれのテーマはとても興味深いものだったが、全て聞くことができなかつたので、ちょっと残念だった。

Q6-1. フォーラム（読解）はどうでしたか？

とてもよかった 2

Q6-2. フォーラム（表記）はどうでしたか？

とてもよかった 2 まあまあよかった 2

コメント：

- 意外に時間が少なかったので、もっと時間に余裕があれば良かった。
- 知らなかったサイトを紹介してもらい、実際に見ることができてよかった。

Q6-3. フォーラム（メディア）はどうでしたか？

とてもよかった 4 まあまあよかった 2

コメント：

- 色々な意見交換ができて、良かったです。

Q6-4. フォーラム（会話）はどうでしたか？

とてもよかった 7 まあまあよかった 2

コメント：

- 自分からは、まったく発信できるものがなかったのですが、次回までには、いろいろと研究実践をつんでおきたいとおもいます。みなさんのお話がとても参考になりました。ありがとうございました。
- 実際に会話eラーニングサイトやツールを利用している人はいなかったため、「会話」はeラーニングは難しい分野ではないかという話が出たが、じゃあどうすればいいの、アイデア交換をすることができた。

Q7. 運営はどうでしたか？

とてもよかった 22 まあまあよかった 2

コメント：

- 全てにおいて気が配られていました。

Q7-1. 開催時期、曜日、時間帯、場所、会場について

- よかった／とてもよかった。
- ちょうどよかった。
- 暑かった。
- ほんとうは6月中旬の方がよいのですが、...
- パルセロナに住んでいることもあり、今回参加しやすかった。
- いつもマドリッドではなく、ほかの都市でするのもよいと思った。
- 会場がすばらしかった。
- トイレが少なかった。
- UOC、Tb4の建物の場所がわかりにくかった。
- 総領事館の住所がなかった。
- いろいろと準備等、ありがとうございました。

Q7-2. 案内、申し込み、受付、進行などの運営はどうでしたか？

- よかった／とてもよかった。
- アットホームな感じでよかった。
- スムーズだった。よく準備されていた。
- 対応も速く運営はとてもよかったと思います。
- 全体的には良かったのですが、各先生方の発表時、資料が足りなかったのは残念でした。ウェブからダウンロードできるのは分かりますが、手元にある方が分かりやすいので。

Q7-3. お食事や飲み物はどうでしたか？

- おいしかった／とてもおいしかったです。
- お弁当がおいしかったです。×3
- おいしい食事、お菓子、飲み物もたくさん用意していただき、ありがとうございました。
- 近くに飲食店がないので、お弁当を準備してくださるのはとてもいいと思った。
- コーヒーかお茶がほしかった。

Q7-4. その他、運営に関して何か希望はありますか？

- 移動するときみんなが乗れるバスがほしかった。
- サイトに簡単でも英語で案内をお願いします。
- 今回のシンポジウムの各プレゼンテーションをHPにアップしてもらえればうれしいです。
- 全員の口頭発表を聞いたほうがよかったです。
- タイムキーパーの件ですが、12:00~12:30だけと伺っていたのですが、実際には、II部で全ておこなわれました。
- 今回バルセロナ行きは遠いし、行きも帰りも泊まらないといけなかったのも、最初は、どうしようと思っていましたが、来てよかったです。
- いつも準備、実務とさまざまな心配り、ありがとうございます。

Q8. スペイン日本語教師会、国際交流基金マドリッド日本文化センターに今後どんな活動を期待しますか？

- 参加者リストをお願いします。
- ネットワークでくれんらくをお願いします。
- 要望は今のところありません。まだどうい活動をしていくのか知りませんので。今後の活動にもぜひ参加したいです。今回初めてシンポジウムに参加してとても勉強になりました。ありがとうございました。
- これからも実り多い勉強会を開催して下さい。
- 教師会の皆さんの日本語教育に関する取り組みは素晴らしいと思いました。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 参加してとても良かったです。これからの日本語教育に是非活用したいと思います。ありがとうございました。